



GoodJob!

2017-2018

2018.2.17-20

渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

www.goodjobproject.com

TOKYO 2018.2.17 (SAT) - 20 (TUE)

渋谷ヒカリエ 8F
8/COURT

アート・デザイン・ビジネス・福祉の分野をこえて、新たな出会いとしごとが生まれる場

GoodJob! 展 2017-2018

これからのしごと・はたらき方を紹介する展覧会を開催します。生活の価値観が多様化するなかで、一人ひとりがはたらきやすく、その人にあった能力を発揮できる環境や社会が求められています。Good Job!展では、障害のある人とともに、今までの労働観では考えられなかったしごと・はたらき方を生みだしている人・団体を紹介します。先駆的・革新的なGood Job!が集まり、学び、考え、語りあう場所にぜひお越しください。

EXHIBITION

TOKYO 東京

2018.2.17(土)～20(火)
11:00-20:00
渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

東京都渋谷区渋谷2-21-1

東急東横線・田園都市線、東京メトロ半蔵門線・副都心線
「渋谷駅」15番出口と直結／JR線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線「渋谷駅」と2F連絡通路で直結

※2/17、2/20は19:00～20:00 トークイベントのため入場制限あり

TALK 1

17(土) 19:00-20:30
渋谷ヒカリエ 8階 8/COURT

「アート・デザインを生み出すネットワーク
～韓国、イタリアの事例から～」

韓国のNPO rawside(ローサイド)と、イタリアのNPO Laboratorio Zanzara(ラボラトリオ・ザンザラ)を事例に、背景にある福祉事情や、障害のある人から生みだされている製品づくり、そして活動をひろげる仕組みについて話します。

コ・ジェフィル(NPO rawside 共同代表、映像作家)

NAOKO / 奥村奈央子(ソーシャルコーディネーター、プランナー、デザイナー)

コーディネーター・原田祐馬(UMA/design farm 代表・デザイナー)

□ 定員 40名 参加費 1,000円

TALK 2

20(火) 19:00-20:30
渋谷ヒカリエ 8階 8/COURT

「多様な働きかたを提案する
ダイバーシティマネジメント」

社会就労が難しい大学生に対してインターンシップを通して働く機会をつくるベネッセビジネスメイトと明星大学、短い時間しか働くことができない人に仕事を提供するソフトバンク、個人の多様な力を発揮するための企業と大学の先進的なアクションを学びます。

加藤光代(株式会社ベネッセビジネスメイト)

佐藤亮(明星大学発達支援研究センター)

工藤陽介(明星大学 ユニバーサルデザインセンター)

木村幸絵(ソフトバンク株式会社 CSR統括部)

□ 定員 40名 参加費 1,000円

FORUM

19(月) 18:00-20:45
FORUM 8(エイト) 8階 カンファレンスルーム A (渋谷ヒカリエから徒歩約15分)

助成：日本財団

Good Job! フォーラム 「IoTとFabと福祉の可能性」

国内4カ所(山口・福岡・岐阜・奈良)で行われている実験と実践を通して、福祉スタッフと技術者の関係づくりから、新たな技術と障害のある人の仕事づくりまで紹介します。

○ 基調講演 「FabとIoTの今と未来」

小林茂(情報科学芸術大学院大学 [IAMAS])

○ 事例報告 1 「福祉と技術の関係づくり」

富本浩一郎(山口大学国際総合科学部)

相本葉月(社会福祉法人大和福祉会 周南あけぼの園)

○ 事例報告 2 「デジタルメイカーを育てる」

伊藤 慎一郎(九州大学大学院芸術工学研究院)

吉田 修一(NPO法人まる 工房まる)

高橋志津子(北九州イノベーションキャリリー・デジタル工房)

遠山昌子(一般社団法人生き方のデザイン研究所)

○ 事例報告 3 「新しい技術を福祉に活かす体験と試行」

小林茂(情報科学芸術大学院大学 [IAMAS])

森洋三(社会福祉法人いぶき福祉会 第二いぶき)

○ 事例報告 4 「デジタルファブリケーションの実践」

藤井克英(社会福祉法人わたぼうしの会)

Good Job!センター香芝

○ ディスカッション

「福祉スタッフと技術者の本音と建前」

□ 定員 80名 一般2,000円 / 学生1,000円

※会期・会場などは変更となる場合があります。最新の情報は、ウェブサイトをご覧ください。

※トークやフォーラムは電話、FAX、メール、ウェブサイトからお申込みください(先着順)。

企画展

IoTとFabと福祉

IoT(Internet of Things)やFab(Fabrication)など、現代だからこそ可能になった技術を福祉に活用することが期待されています。

国内4カ所(山口・福岡・岐阜・奈良)の実験と実践を通して、新たな技術と障害のある人の仕事づくりを紹介します。

助成：  DIVERSITY 図画 ARTS



「福祉と技術の関係づくり」

山口

社会福祉法人大和福祉会 周南あけぼの園 × 山口大学国際総合科学部

山口情報芸術センター[YCAM]協力のもと「お互いを
知る」勉強会を開催し、福祉職員と技術者・デザイナーが
出会う初めの一步を考えた。その後、参加した福祉施設と
大学が協働を始め、ファブラボ山口との機材講習、フィールド
リサーチなどコミュニケーション方法を探る。



「デジタルメイカーを育てる」

福岡

九州大学大学院芸術工学研究院 × NPO法人まる 工房まる
(一社)生き方のデザイン研究所 × 北九州イノベーションキャリリー

3Dプリンタやレーザーカッターで出力するためのデータを
制作する技術をもち、自分や世の中にとって必要なものを
自らデザインし生み出す「デジタルメイカー」という仕事を
つくridすことを目指す。課題やノウハウを整理し、市場
ニーズへの展開についても考える。



「ケアとしごとに活かす体験と試行」

岐阜

社会福祉法人いぶき福祉会 第二いぶき
× 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

「粘土でつくった創作物を撮影するだけで型をつくりたい」
「トイレに入ったら自動で鍵がしまってほしい」など具体的な
アイデアを考え、スマートフォンを使った3Dスキャン
ツールやIoTデバイスの体験を通じて、仕事づくりとケア
環境の改善の可能性を見出す。



「デジタルファブリケーションの実践」

奈良

社会福祉法人わたぼうしの会 Good Job!センター香芝

個性豊かな製品が生まれる一方で、大量生産が難しい
福祉施設にとってデジタル技術は「適量生産」を可能にする。
伝統工芸を組み合わせた「新民族」や地元素材を活用した
製品づくりなど具体的なものづくりの事例を紹介する。

Good Job! Award 入選展

障害のある人との協働から生まれた魅力的なしごと・はたらき方を
全国から募集する「Good Job! Award」。
応募数51件のなかから選ばれた12件を紹介します。



「マニモビールズ」

愛知

Manu Mobiles

“動く彫刻”や“吊るすインテリア”と呼ばれる
「モビール」。紙と糸でつくられる職人的技術を
要する作業を、4つの福祉施設と連携して製作
し販売している。



「胡蝶蘭の苗のオーナー制」

千葉

NPO法人 AlonAlon

苗に出資をすると、障害のある人が苗を育て、
育った花の一部を出資者の大切な人へ、残りを
販売して所得を生み出す。企業や個人が関わり
やすい仕組みを構築している。



「ショートタイムワーク制度」

東京

ソフトバンク株式会社

精神障がいや発達障がいなどを理由に、長時間
勤務が困難な方が週20時間未満で就業できる
制度。就労意欲があっても機会を得られなかった
方が参加できる雇用システムの創出を目指す。



「乳酸発酵 OYATSU」

神奈川・東京

NAOKO × COBO × かすたねっと

福祉施設が乳酸菌と出会い発酵しました。自然
発酵乳酸菌でこれまでのおやつ・食品をアップ
デート。福祉施設が日本の新しい、からだによい
食文化の発信の役割を担う。



「umi tote [ウミトート]」

兵庫

NPO法人 萌友 - for you

暮らしのそばにある海をテーマにデザインした
トートバッグを製作。1日1枚コツコツ描くなど、
施設が自律的に継続・発展できる手法をつくっ
ている。



「あたつく組合と始めよう!」

奈良

奈良県 自然栽培組合と始めよう!

小さい規模で点在している福祉施設は大きな
商機や機会を得にくい。その可能性を、異業種
の事業協同組合という福祉の枠組みを超えた
連帯のあり方で広げている。



「手づくり焼き菓子 かすたねっと」

東京

株式会社 幸呼茶 Japan

伝統的な製法を継承し、地元「さんさ踊り」
の浴衣や、メーカーから預かった余り布に
織生地として新たな命を吹き込むテキスタイル
プロジェクト。



「大学と企業の連携による就労支援」

東京

株式会社ベネッセビジネスメイト × 明星大学

社会就労が難しい発達障害のある学生をフォ
ローする仕組み。障害者雇用のノウハウを持つ
企業でのインターンシップを通して、はたらく
機会を提供している。



「リンクマーケット・イッちゃん」

韓国

NPO rawside [ローサイド]

障害のある人の表現活動と、そこで形成される
コミュニティを持続して拡散する場づくり。
アート×デザインによって新しい参画者を増や
して活動を広げている。



「自然栽培パーティ」

愛媛

一般社団法人 農福連携自然栽培パーティ全国協議会

はたらく場が少ない、農業や肥料づけになった
作物への不安、休耕地の増加、地方衰退という
多重課題を、障害のある人が核となって全国に
ネットワークを広げ楽しく解決している。



「さっくら Project」

岩手

株式会社 幸呼茶 Japan

伝統的な製法を継承し、地元「さんさ踊り」
の浴衣や、メーカーから預かった余り布に
織生地として新たな命を吹き込むテキスタイル
プロジェクト。



「NOZOMI PAPER」

宮城・東京

NOZOMI PAPER Factory × HUMORABO

東日本大震災を機に南三陸町のぞみ福祉作業
所ではじまった手漉きのリサイクルペーパー。
手づくりの風合いを生かし人と人の想いをつ
なぐプロダクトに。

最終プレゼンテーション、審査会、表彰式

2018.2.18(日) 14:00-16:30 渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

14:00- 最終プレゼンテーション Good Job! Award 入選者が
3分ずつ取り組みを公開で発表

16:00- 表彰式

大賞賞金:10万円

審査員

審査員長

田村 大
株式会社リ・パブリック共同代表

里見 喜久夫
株式会社 はたらくよこびデザイン室 季刊「コトネ」編集長

柴崎 由美子
NPO法人エイブル・アート・ジャパン 代表理事

原田 祐馬
UMA/design farm 代表

林 千晶
株式会社 ロフトワーク 代表取締役

山田 遊
株式会社 メッド 代表取締役

Good Job! 基金

Good Job! Award 入選取り組みに対して継続的な応援をするため、公益財団法人
パブリックリソース財団を通じて2016年度に「Good Job! 基金」を設立。ご寄付
いただいた基金は、入選取り組みに配分されます。



GOOD DESIGN AWARD 2016
グッドデザイン金賞

Good Job! プロジェクトは、福祉と異分野の連携に
よる新しいはたらき方の創出が評価され、2016年度
グッドデザイン金賞を受賞しました。



GOOD DESIGN AWARD 2017
BEST 100

Good Job!センター香芝は、多様な人にとっての居場所
と活動場所を提供する試みが評価され、2017年度
グッドデザイン・ベスト100を受賞しました。

特別協賛: 株式会社 丹青社

TOYOTA

協賛: 明治安田生命

KOKUYO

株式会社 プリプレス・センター

www.goodjobproject.com

主催：一般財団法人たんぽぽの家 共催：公益財団法人パブリックリソース財団 特別協賛：株式会社丹青社／トヨタ自動車株式会社 協賛：明治安田生命保険相互会社／ココロ株式会社／株式会社プリプレス・センター
協力：渋谷ヒカリエ／一般社団法人北海道チャレンジアート＆プロダクト／NPO 法人エイブル・アート・ジャパン／NPO 法人まる 会場構成：dot architects アートディレクション・デザイン：UMA/design farm 編集協力：MUESUM 映像制作：長谷川和俊、市岡裕次郎 トータルアドバイザー：原田祐馬
お問い合わせ：Good Job! プロジェクト 〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4 一般財団法人たんぽぽの家 内 Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501 E-mail: goodjob@popo.or.jp